



社団法人 日本コントラクトブリッジ連盟 普及事業部

●オープン、レディース、シニア揃って世界選手権へ！ ジュニアチーム (U26) も3大会ぶりに出場権獲得！

6月18日(開会式)～28日までマカオで開催されていた今年度のPABF選手権に於いて、日本の代表チームはオープン部門2位、レディース部門2位、シニア部門3位(シニア①チーム)、ジュニア(U26)部門4位と、それぞれの部門で上位入賞を果たしました。引き続き、世界選手権(バミューダボウル/ベニスカップ/シニアボウル)へのゾーン6代表を決めるプレイオフに臨み、その結果見事、これらの部門で世界選手権への出場資格を獲得しました。

オープン/レディース/シニアチームは今年8月29日からサンパウロで行われる世界選手権(バミューダボウル/ベニスカップ/シニアボウル)に、ジュニアチームは来年開催される世界ユースチーム選手権(会期・場所未定)にゾーン6の代表として参加することになりました。周りの初心者の方たちや生徒さんたちにブリッジの日本代表選手たちが頑張っていることをお知らせください。皆で応援しましょう！

[2009年PABF選手権大会の結果およびゾーン6代表決定戦の結果]

*世界選手権に出場するためのゾーン6代表決定戦とは？

PABF選手権の1位国とプレイオフで勝利した2カ国の計3カ国がゾーン6の代表となります。PABF選手権終了後、1位国およびオーストラリア・ニュージーランドを除いた4カ国でプレイオフを行い、残り2枠を決めます。

1. オープンチーム部門(参加チーム総数:13)

NPC:前田尚志 メンバー:井野正行、今倉正史、陳大偉、古田一雄、寺本直志、高山雅陽

[PABF選手権]1位:中国、2位:日本、3位:台北、4位:シンガポール、5位:インドネシア

[バミューダボウル ゾーン6代表]中国、日本、台北

2. レディースチーム部門(参加チーム総数:10)

NPC:黒川晶夫 メンバー:西田奈津子、宮国亜矢子、中尾共栄、坂本みどり、島村京子、伴野和子

[PABF選手権]1位:中国、2位:日本、3位:インドネシア、4位:ニュージーランド、5位:シンガポール、6位:台北

[ベニスカップ ゾーン6代表]中国、インドネシア、日本

3. シニアチーム部門(参加チーム総数:9)

シニア① PC:山田彰彦 メンバー:山田彰彦、大野京子、中村嘉幸、平田眞

シニア② PC:桜井恒夫 メンバー:桜井恒夫、伊藤菊夫、朝岡健一、多田武彦、神代高弘

[PABF選手権]1位:インドネシア、2位:オーストラリア、3位:日本①、4位:香港、5位:オーストラリア、6位:中国

[シニアボウル ゾーン6代表]インドネシア、日本、中国

*中国が見事プレイオフから立ち上がり、代表権を獲得しました！

*日本のシニア②は8位でしたが、オーストラリアの2チームを除けばアジアで6位の大健闘ぶりでした。

4. ジュニアチーム部門(U26:26歳未満、参加チーム総数:10)

*ジュニア部門はプレイオフはありません。オーストラリア・ニュージーランドを除いたアジアのトップ3カ国が自動的に代表権を得ます。

NPC:山後秀幸 メンバー:横井大樹、三浦裕明、小池紀彰、貴戸祥郎、松田崇志、村井健多郎

[PABF選手権]1位:オーストラリア、2位:中国、3位:香港、4位:日本、5位:シンガポール、6位:台北

5. スクールチーム部門(U21:21歳未満、参加チーム総数:6)

NPC:山後秀幸 メンバー:服部光、村上草平、渡貫智行、杉本大輔、笹川雄太

[PABF選手権]1位:中国、2位:台北、3位:香港、4位:シンガポール、5位:オーストラリア、6位:日本

*2年前のPABF大会に高校生として初めて代表になり出場した杉本/笹川両選手の他は、大学に入ってからブリッジを始めたというブリッジ歴1~2年の若い選手たちでした。小学校の頃から国を挙げてブリッジの英才教育(?)を受けている中国を始め、他のアジアの選手たちに比べて何といってもブリッジ歴の差が出てしまいます。彼らにとってはこれがスタート地点。このような国際試合を経験し、厳しさ、悔しさを味わうことでプレイヤーとして大きく成長していってくれることを願っています。

●特製ブリッジTシャツを作りました！ブリッジ・インストラクター向け特別価格500円でお分けします

「普及ネット」の立ち上げを記念して、JCBL特製Tシャツを作りました。NECブリッジフェスティバルの普及イベントでスタッフが着用して評判だった真っ赤なTシャツで、前面には「We Love Bridge」、背中には大きくJCBLのロゴマークをプリントしています。イベントで体験教室をする時などに便利です。お仲間と一緒に着用しておおいにブリッジをPRしていただければ幸いです。ご希望の方は事務局までご連絡ください。



(サイズ:M、L、LL 価格:500円)

●夏休み、「囲碁」との合同イベント、大阪に続いて名古屋でも開催決定！

8月8日(土)、名古屋市東区の日本棋院中部総本部8階で開催される「夏休み ジュニア&プロ ふれあい囲碁まつり」(対象:高校生以下)の一角にミニブリッジ紹介コーナーを設けることが急遽決定しました。8月1日(土)大阪京セラドームで開催される「第4回関西ジュニアペア碁大会」ミニブリッジコーナーに引き続いての囲碁イベントへの出展です。囲碁の好きなジュニアたちはミニブリッジも好きです。短時間でマスターし、思いがけないほど上手いプレイを自然にしてしまうこともしばしば(おそらく「逆も真なり」なのでしょう!)。大阪・名古屋のイベントは囲碁とミニブリッジの両方を覚えるチャンスです。両地域に在住のジュニアをご存知でしたらぜひご案内ください。

●放課後の居場所づくりプロジェクトにミニブリッジ、九州でも！(6/26付 西日本新聞に掲載)

2008年3・4月号の会報(6号)48Pに、栃木県さくら市でブリッジ・インストラクターの方が小学生対象の学童保育活動「ふれあいスクール」で月2回、ミニブリッジを手ほどきして下さっていることをご紹介しました。これは放課後の子どもたちの居場所づくりとして“地域の方々とふれあいながら学ぶ場を提供する”というプロジェクトに採用されてのことですが、福岡県でも連盟九州支部が居場所づくりプログラムの一環として春日市の中学校で生徒と住民を対象にミニブリッジを紹介したとの記事が6/26付の西日本新聞に掲載されました。(記事タイトル:春日中生徒と住民「ブリッジ」で交流 トランプゲーム講習会)

記事をご覧になりたい方、地元の「居場所づくりプログラム」でのミニブリッジ導入を考えていらっしゃる方、普及事業部までご連絡下さい。

●世界ではどれくらい？日本ではどれくらい？ ブリッジの愛好者数（公称）について

どれ位の人がブリッジをしているかと説明する機会も多いと思われます。そのような時のご参考に…

世界では約1億人、とWBFでは公称しています。

日本では、競技ブリッジをされるJCBL会員・会友の方が2009年3月時点で約7,200人ですが、その他に会員登録はされずに、ご家庭や仲間内で社交ブリッジを楽しんでいらっしゃる方、初心者の方たちを合わせると推定20万人位はいらっしゃるのでは、と普及事業部ではいつも答えています。

●JCBL会員・会友に関する参考データ

2008年度末(2009年3月)時点で7,183人が会員・会友登録をされています。

★2,031人が男性、5,152人が女性です。男性3に対して女性7の割合です。

★年代別では60代以上が半数を超えます。(シニア会友登録されるまでは「年齢」登録は義務事項ではなく、不明の方が3割弱いらっしゃいますので正確な数字はつかめないのですが。)

★地域別では、8割弱が首都圏に集中していますが、ここ2～3年は常設会場ができた北海道や九州地方、宮城県、そしてカルチャーセンターブリッジ講座の割合が多い兵庫県のプレイヤー人口が勢いよく増加しています。

●JCBL公式ウェブサイトのアクセス数はなんと！

統計を取り始めた2008年6月から2009年3月までの総アクセス数は、1,336,595回。

月間平均133,659回、1日あたり4,010回という驚異的な数字です。(普通の企業・団体では望んでも得られない数字、と広告代理店もビックリ！)

全部が会員の方ではないでしょうから、これだけ注目されているという証としてブリッジPRの際の話題のひとつに加えてください。